



【第3弾】部活動派遣費問題を考える 地域円卓会議 in 八重山

不足している部活動の派遣費用、
民間寄付・ふるさと納税等多様な支え方を考える。

実施報告書

日時： 2022年9月26日（月）18:30-21:10（受付開始18:00～、配信開始18:20～）
場所： 大濱信泉記念館 多目的ホール（石垣市登野城2-70）、オンライン配信（zoom）
共催： 公益財団法人みらいファンド沖縄、株式会社ハブクリエイト
協力： NPO法人まちなか研究所わくわく

報告書作成
NPO法人まちなか研究所わくわく
公益財団法人みらいファンド沖縄

ACTIVITY REPORT

【報告】【第3弾】部活動派遣費問題を考える地域円卓会議 in 八重山



- 日 時：2022年9月26日（月）18:30-21:10
- 場 所：大濱信泉記念館 多目的ホール、
オンライン配信（zoom）
- 着席者数：7名（論点提供者、司会、記録者含む）
（内、オンライン1名）

- 参加者数：14名（スポーツクラブ、部活動父母会等）
（内、会場7名、オンライン7名）
- 共 催：公益財団法人みらいファンド沖縄
株式会社ハブクリエイト
- 協 力：NPO 法人まちなか研究所わくわく

論点提供

嘉数 菜利子

（公益財団法人みらいファンド沖縄 沖縄・離島の子ども派遣基金プログラムオフィサー）

不足している部活動の派遣費用、 民間寄付・ふるさと納税等多様な支え方を考える。

部活動派遣費問題を考える円卓会議、過去2回の円卓会議において、「離島に暮らす子どもたちの移動を制限してしまうことは体験保障の大きな障害であり、教育格差の象徴である。那覇市の子どもの負担と比較しながら具体的に正プランを立て、県や国に呼びかけるべき」との提言があった。

さらに、人口の少ない離島においては、旅行自体の手配（移動・食事・宿泊・練習場所等）も大きな負担となる。さらに、派遣前の支出も多くその立替費用等があきらめの原因となっている。これらの周辺課題の負担軽減と担い手の担保が必要という事実確認も行われた。

今回の円卓会議は、必要な財源をすべて行政で賄うことが難しい場合、民間寄付・ふるさと納税などの外部資源の活用もしっかり検討し、多様な資金源を持って子どもたちを支える議論をしたい。

センターメンバー



嘉数 菜利子
公益財団法人
みらいファンド沖縄



根原 工
登野城スポーツ少年団
バレーボール部 総監督



石川 勇作
石垣市議会議員



玉城 力
日本トランスオーシャン
航空 八重山支社長
（兼）八重山営業所長



山田 健一郎
公益財団法人
佐賀未来想像基金
理事長

【第3弾】
部活動派遣費問題を考える
地域円卓会議in八重山

不足している部活動の派遣費用、
 民間寄付・ふるさと納税等多様な支え方を考える。

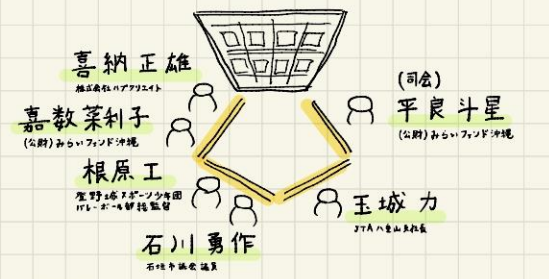
2022年9月26日（月）18:30-21:10 @大浜信泉記念館 多目的ホール

不足している部活動の派遣費用、
 民間寄付・ふるさと納税等多様な支え方を考える。



共催 公益財団法人みらいファンド沖縄、株式会社ハブクリエイト
 協力 NPO法人まちなか研究所わくわく

2022.9.26



オンライン
 山田健一郎 (公益財団法人公益財団基金)

(板書・記録)
 宮道 幸一 (NPO法人まちなか研究所わくわく)



論点提供

嘉数 菜利子 氏

公益財団法人みらいファンド沖縄
 沖縄・離島の子供も派遣基金プログラムオフィサー

八重山郡出身。郡内にて情報サイトの運営職を経て、教育支援NPOに転職し、復興支援基金の事務局、寄付者対応、社内の各プロジェクトの協力支援として従事。その後、沖縄の地域課題解決支援の立ち上げに関わった事をきっかけに、昨年にUターン。本事業では、部活動等に対する県内市区町村の補助金調査を担当したのち、プログラムオフィサーとして活動している。中学はソフトボール部、高校はサッカー部、バレー部マネージャーとして部活動に励む。

沖縄・離島の子供も派遣基金事業



2020年度～2022年度の3年間は休服金を活用した実証事業期間

生まれた場所・住む場所によって
 子ども達の体験に格差を生まない社会づくりを

本事業は、離島県沖縄において、住む場所により子どもたちの移動の自由が制限されているということが、子どもから「体験すること」という人生の選択肢を奪っており、子どもの人権が守られていない不平等な状態だと地域全体が認識することを目的に実施する。

また、同時に、子どもは1人または一部の関係者だけでなく地域全体の資源であり、全体で育てるものである相互扶助の価値観の再構築も目指したい。

多くの「体験」の機会の中でも、部活動の派遣旅費の負担の課題は、離島県の不利性を本人や家族が自己責任で担保しているため、子どもの学びの機会に不平等が生じていることを社会課題と捉え、県民全体でここを支える仕組み（基金）を作ることと目標とする事業である。

部活派遣費6万5000円

旅費補助による家計負担率の変化(1人当たり平均負担額) 2021年度 総額 65,277円

地域	旅費補助による家計負担率	旅費補助による家計負担率
7,774円 12%	7,774円 12%	7,774円 12%
13,701円 21%	13,701円 21%	13,701円 21%
14,119円 22%	14,119円 22%	14,119円 22%
23,731円 36%	23,731円 36%	23,731円 36%
5,952円 9%	5,952円 9%	5,952円 9%

県内小中高生1人平均

全国出場や入部断念も

部活派遣費 深刻な声

「次世代選手に学習効果」

登録外メンバー同行を報告

2022.9.26

22年9月21日 沖縄タイムス朝刊面、2面より

事業名：八重山・離島の子ども派遣基金事業（団体名：ハブクリエイト）

▼2020年度 派遣補助実績 総件数：5件、合計：1,035,154円の補助

<内訳>

- ・ 野球大会 （石垣中学、112,125円）
- ・ 演劇公演 （やいま浪漫の会、611,070円）
- ・ 野球大会 （大浜中学、58,129円）
- ・ 野球大会 （真喜良小学、115,830円）
- ・ 野球大会 （石垣中学、138,000円）



大浜中

事業名：八重山・離島の子ども派遣基金事業（団体名：ハブクリエイト）

▼2021年度 派遣補助実績 総件数：10件、合計：3,127,202円の補助

<内訳>

- ・ 野球 （石垣中学、302,850円） 24名
- ・ バスケ （平真小学校、585,260円） 15名
- ・ 郷土芸能 （八重山高校、500,000円） 46名
- ・ テニス （八重山高校、350,532円） 10名
- ・ テクノラリー （八重山商工、99,960円） 17名
- ・ 郷土芸能 （石垣二中、168,750円） 25名
- ・ 野球 （石垣二中、302,030円） 25名
- ・ バレー （石垣二中、298,365円） 17名
- ・ 野球 （八重山選抜、297,185円） 21名
- ・ 野球 （八重山選抜、217,770円） 21名



事業名：八重山・離島の子ども派遣基金事業（団体名：ハブクリエイト）

▼2022年度 派遣補助実績 総件数：14件、合計：2,353,975円の補助

※途中経過

<内訳>

- ・ 郷土芸能 （石垣二中、400,000円） 35名
- ・ バスケ （八重山商工定時、136,500円） 8名
- ・ テニス （八重山高校、100,000円） 9名
- ・ 野球 （少年スネーク、274,205円） 16名
- ・ バスケ （上原ドリム、200,000円） 13名
- ・ 郷土芸能 （八重山高校、500,000円） 35名
- ・ バレー （小学生7チーム、456,010円） 63名
- ・ サッカー （八重山商工、287,260円） 19名



2020年度～これまでの派遣補助実績：29件、6,516,331円

3 2022.9.26

本事業に関する石垣での過去2回の円卓会議より



2021年12月14日（火）
【1日目】部活動派遣費問題を考える地域円卓会議「八重山」

■テーマ
島の子どもの活動が地域を元気にする。
派遣費に関わる課題をみんなで考える。

論点提供者
・ 喜納 正雄氏（株式会社ハブクリエイト代表取締役社長）

■出席者
・ 仲間 千加史氏（石垣市教育委員会 教育総務課 課長）
・ 中島 育美氏（平真小学校ミニバスケットボール部 父会 副会長）
・ 比嘉 小百理氏（八重山高校郷土芸能部 顧問）
・ 下地 寛正氏（石垣市商工会 副会長）

2021年12月15日（水）
【2日目】部活動派遣費問題を考える地域円卓会議「八重山」

■テーマ
孫離島の子どもの移動負担の課題を確認し、
支援の方向性を考える。

論点提供者
・ 喜納 正雄氏（株式会社ハブクリエイト代表取締役社長）

■出席者
・ 清村 めぐみ氏（多良間島在住主婦）
・ 入里 沙絵子氏（竹富町教育委員会 総務課 係長）
・ 山下 義雄氏（竹富町議会議員、八重山高校郷土芸能部 父会）



本日ご相談したいこと（昨年の円卓会議の提言より）

- 1) 離島に暮らす子どもたちの移動を制限してしまうことは体験保障の大きな障害であり、教育格差の象徴とも言える。本当にここで子どもを育て続けられるのかという問いかけを。まずは全離島市町村に横串を刺したさらなる旅費負担軽減の施策を提案すべき。少なくとも那覇市の子どもの負担と比較しながら具体的な正プランを立て、県や国に呼びかけたい。
- 2) 人口の少ない離島においては、旅行自体の手配（移動・食事・宿泊・練習場所等）も大きな負担となる。さらに、派遣前の支出も多くその立替費用等がきりめの原因となっている。これらの周辺課題の負担軽減と担い手の担保が必要。
- 3) 観光業中心の離島地域は、土日休日の帯同が困難な場合が多い、何らかの方法で応援できる仕組みも検討事項である。

クラウドファンディング
ふるさと納税

- 4) これらに必要な財源をすべて行政で賄うことが難しい場合、ふるさと納税等の外部資源の活用もしっかり検討し、特定財源化を目指したモデル事業を検討したい。

4 2022.9.26

→多様な支え方（資金面）、その進め方を皆さんと議論していければ



登野城スポーツ少年団バレーボール部総監督

根原 工 氏

2011年に長女がバレーボール部に入学したことがきっかけで指導者を始める。指導歴12年。

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者
バレーボールコーチ

沖縄本島を中心に毎年2〜3回県大会へ参加している。

県大会に出るために必要

全6大会 { 上位入賞
フリーエントリー

石垣市 → バレーボール 男 6チーム 女 4チーム (小学校)
県大会へ 3チーム 4チーム

市ホムカ：片道半券 8000円 上げている。
オープンな大会でも認められればOK

4万円/回 × 3回 × 3人 ⇒ 36万円/年

組織的/計画的

足りない分

父母会が中心となって作戦

地域から資金造成のとりくみをあげてくれる (差込)
行政 軽作業 (草刈りなど)
企業 昨日も会館で作業

祭りで屋台だして

ボケ活動 (キフ)

数年に1回 全国大会
全国常連校は金額 かわる

5 2022.9.26



石垣市議会議員

石川 勇作 氏

石川勇作、4才、妻と高校生3年生、中学生3年生、小学生2年生の子ども3人。

現在、市議会議員2期目。議員としての主な実績は、児童生徒の派遣補助の増額、前運動振興会制度の導入、ひとり親家庭支援「きむめふあ応援バスポート」導入、GIGAスクール推進など、主に子育て、教育、スポーツについて取り組みを実施。

10年前に始めたアームレスリングでは、全日本選手権で3度優勝するなど、アスリートとしても活躍中。

県内 8,000円 4000件
県外 21,000〜31,000円 300件

まず県内ハケンからとりくみたい

1つ74万円あれば県内ハケンまかなえるのでは
(石垣市) 県全体で5つあれば

議会 離島市町村会 → 県へようせいを

サッカー 石垣大会開催 → 本島で署名活動

一括交付金 → 6つ (全体) → 教育関係で1つ増額もずかしい

県内格差是正は県で

回数制限・種目制限ない
個人競技は先生(引率)も大変

自らもハケン当事者



日本トランスオセアン航空 (JTA)
八重山支社長 (兼) 八重山営業所長

玉城 力 氏

沖縄県那覇市出身 (1965年12月 (56歳))

家族構成 妻・男2人・女1人 子供たちは皆、スポーツ系の部活動を経験。
・中学時代 吹奏楽部に所属。3年生の時に、九州 (筑後) 大会に派遣された経験あり。
・高校時代 バンドボール部に所属。部だったので県外派遣の経験なし。

1990年4月 南西航空(株) (現日本トランスオセアン航空(株))入社
那覇空港支店に配属

2014年11月 旅客部長

2017年7月 人財部長

2019年4月 総務部長

2020年4月 八重山支社長(兼)石垣空港所長

2021年4月 八重山支社長(兼)八重山営業所長

⇒与那国を含む八重山地区の総括責任者で、主に広報や営業、移外窓口を担当。

競技力向上
機会創出

- 8月のハケン多い → 観光トップシーズン 高い (団体運賃)
- 離島割引 → ピーク期・通常期 かわらない (個人運賃)
- 競技ごとの協会が年固みおさえておさえるなど工夫できないか
- 温度差ある → 県全体と八重山と 底上げも必要 → みんなで やろうかな ののでは
- 航空運賃もシステムアップに (需給) なっている → ダイナミックプライシング
- 早くおさえることは有効

6 2022.9.26



公益財団法人佐賀未来創造基金 理事長

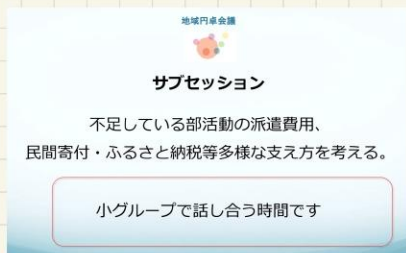
山田 健一郎 氏

2013年に市民の方で佐賀初のコミュニティ財団・佐賀未来創造基金の設立及び代表理事に就任して公益財団法人化。社会資源の地域循環と社会参加・人材育成の共助の仕組みづくりで地域課題解決に挑戦中。

佐賀県ふるさと納税NPO等支援制度を2016年から活用してファンディングを行い、これまでに20件以上のGCFに取り組み。

全国コミュニティ財団協会会長をはじめ、福祉・子ども・街づくり・産業支援など県内外の多様な公職等も務める。

- NPOを指定したふるさと納税 H26 からスタート
- 117団体 が 県指定団体
- 10万円/年 キフ額
- すぐれた税制優遇
- 放費をさく減する 団体 が 指定団体 となること ありえる → 子どもたちのハケンをサポート (公益性)
- 法人格なくても登録できる
- 資金調達はそれぞれで (返礼品も)
- 10%手数料
- 事業計画出す
- 県外に出た高額納税者など可能性
- 東京でイベント、マーケティング勉強会 など



ホテル高い
楽キ運ば60万(片道)
マージング 指導者よお

父母の立場
今の資金造成たいへん
入れ制(父母会ごと)
ポスティング
全負いかせたいけど
メインで行かせたい
手配の苦勞と
大会運営の
枠がきまってない 課題

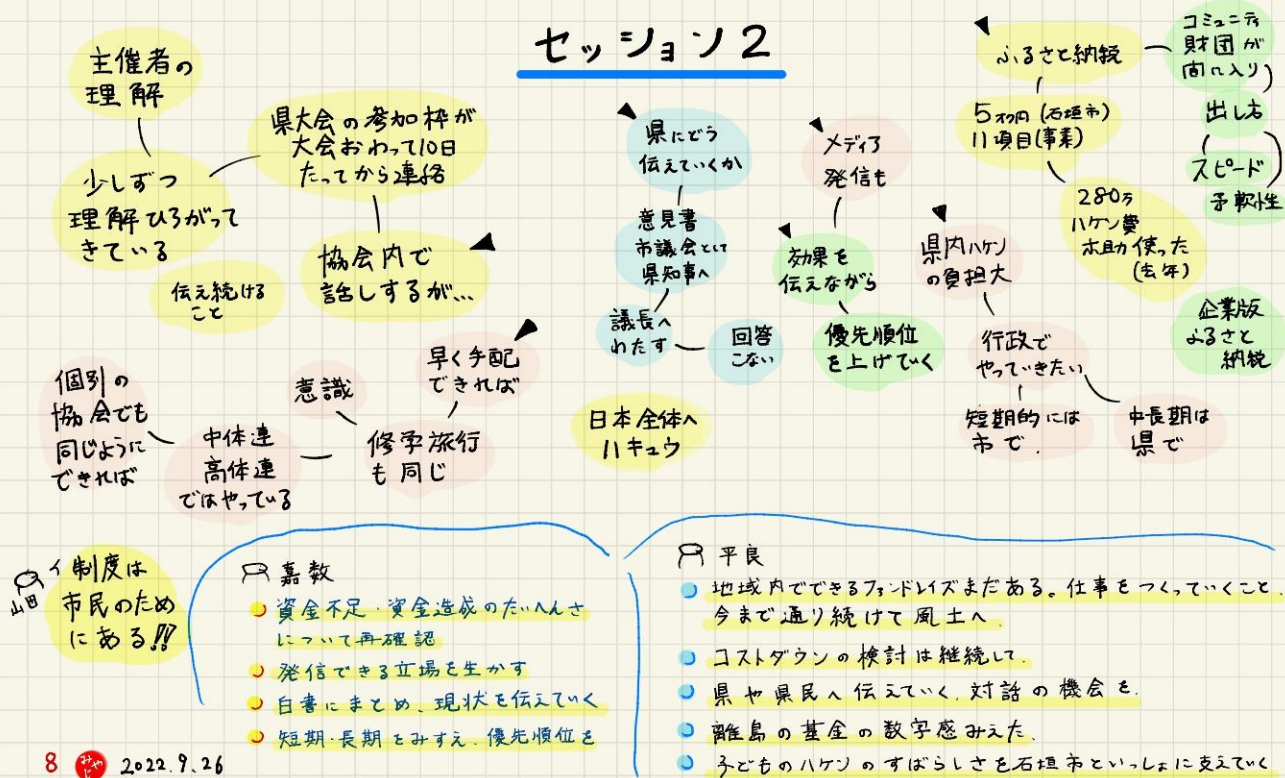
15/回 会社から
代表 → 毎週・毎月 合同練習 (トレン)
転校して参加する子も
金銭的に行けない子 → ひきずってしまう

那ハから北部
へ会場変更
離島の苦勞
理解ない



7 2022.9.26

セッション2



8 2022.9.26

今後のアプローチの方向性（提案）

- 1) 派遣費の資金造成は民間も参入できるフィールド。官民でお互いの良さを活かしながら、資金造成活動を地域づくりの文化として昇華させるべき。
- 2) 離島の派遣費負担の数値感はある程度わかったので、どのくらいの金額があれば、どれだけの人が移動できるのか、基金のサイズを検討していきたい。
- 3) そもそもの派遣費をコストダウンする事はできないか。検討を継続していきたい。
- 4) 離島の派遣費の負担について白書にまとめ、沖縄県と沖縄県民に伝え、対話の機会をつくっていく。まずは大会主催者の理解につなげたい。
- 5) ふるさと納税を活用した派遣費支援の仕組みを石垣市で先行して実施できないか。募集の際には子どもを派遣する事の意義を伝えていく。沖縄県のふるさと納税に波及するモデルにしたい。

■参加者によるサブセッション

不足している部活動の派遣費用、 民間寄付・ふるさと納税等多様な支え方を考える。

(参加者記載の原文をそのまま記載している為、事実と異なることがあります。グループ毎に①、②・・・と記載)

①

- ・資金造成の情報どこから？
- ・入札→父母会別にエントリーして安い方 現状の資金造成
- ・マーチング：ポスティング、お祭り
- ・父母会の集まり自体難しい コロナの影響
- ・「どの大会かメインですか？」という話も父母からあがる
- ・ホテル那覇コウ、ユースホステルもおすすめ
- ・試合後、15日経って枠がやっと決まった 手配の苦労
 - 運営の問題
- ・急に枠が空く手がある。子ども達に体験させたい
 - 離島の苦労がわかってない。 離島軽視
- ・雨天の場合
- ・急に会場が南部→北部に
ホテル変更
- ・大会側に依頼した

②

- ・会社で社員の子どもが1回派遣に付き1万円
- ・ボキンは誰かわからない
- ・従業員も子どももよろこぶ。
- ・代表選手の合同練習の負担が大きい。
- ・部活内で格差
- ・金せんの派遣して行けない子 メンタル引きずる
- ・寄付をまとめる団体がほしい
- ・(人気商品の) 売上げの2%を竹富町の派遣費に
- ・1人親家庭
- ・ピンポイントに派遣費にまわしたい

③

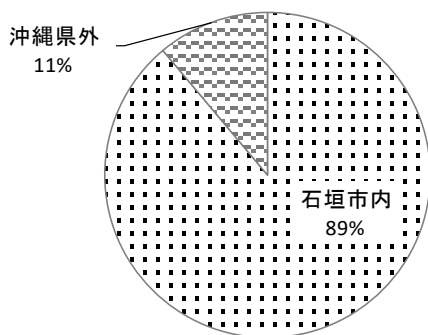
- ・代表が決まったときは高い。特にホテル。
- ・団体手配割高。
- ・楽器運送費高い。120万円。
- ・マーチング指導者 みな本島・Airでくる。

【第3弾】部活動派遣費問題を考える地域円卓会議 in 八重山 参加者アンケート集計

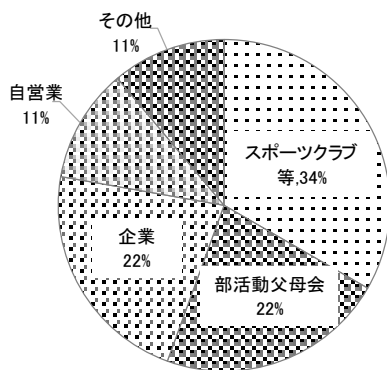
◆概要

- ・日時：2022年9月26日（月）18:30-21:10
- ・場所：大濱信泉記念館 多目的ホール
- ・着席者：7名（論点提供者、司会、記録者含む）
※オンライン1名
- ・参加者：会場7名（取材1名）、オンライン7名
（アンケート回収9名、回収64%）

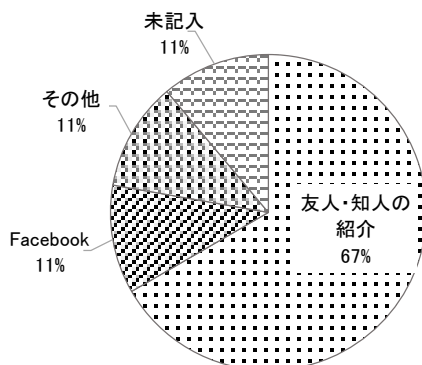
1. どちらから？



2. 所属



3. 円卓会議はどのように知ったか



4. 満足度

平均：4.6（5点中）

5. 満足	4. 概ね満足	3. 普通	2. あまり満足していない	1. 不満足	未記入
7名	0名	0名	1名	0名	1名

5. 満足度の理由

（5. 満足）

- ・ 色々な立場の方の意見や考え方を聞くことができた
- ・ 派遣の実情を知ることができました
- ・ マーチング指導者の招へいや派遣以外の費用も相当かかっている現実を知ることができた
- ・ 派遣費の負担が軽くなっていく希望が持てたから
- ・ 他の父母会の方々のお話を聞けて、みんな苦労されていることを知り、
- ・ その課題を考え行動してくださっている方々もいらっしゃることもわかりありがたかったです。
- ・ 色々なお話をきけてとても良かったです
- ・ 様々な角度から課題の吸い上げや意見が集められて、全体像が見えてきた感じ。今後どの様に離島の部活動派遣費の問題を目に見える形で解決できるか。地域住民や企業、行政、様々な立場で出せるアイディア、できる活動を考えていく良いキッカケになった。
- ・ 同じ離島同じ問題を抱えているので本当に長崎から見て勉強になります

（2. あまり満足していない）

- ・ 課題がずっと前から同じで、解決策としてなにか出るかと思ったが少しぜんねんに思いましたがこのような動きをされてると知れたのが良かったです。

6. 円卓会議で印象に残ったこと

- ・ クラウドファンディングやら、ふるさと納税など、もっと共感してもらえるような啓発等が必要ですね
- ・ 石垣市内でも基金団体ができればこまかい対応ができるかと思います。ありがとうございました。
- ・ 県内派遣の費用を県に負担してもらおう案すごく共感できた
- ・ ふるさと納税の仕組み活用
- ・ 県大会に関しては、県民の負担に格差があってはいけないというのは全くその通りと思いました。離島から参加する費用は県で負担してもらえるようになると良いと思います。佐賀県からのお話もとても興味深かったです。
- ・ 根原さんがおっしゃっていた地域内でできるファンドレイズの様な形は、地域事業者ももっと知るべき内容だと発見があった。観光地域且つ、人手不足の離島圏の別の課題とクロスさせることができないか。また、NPOの様な形で受け皿となる団体が地域に必要なと感じた。
- ・ 休眠預金後の資金獲得

(写真) 会場の様子



カカズ、あもとこ、とがやま、根原 ・情報安全生成の情報、どこから? ・入れ 系 → 父母会別にエントリーして安心。 } 環境の安全生成 → ・マージン: ポスティング、お祭り、 ・父母会の集まり自体が難しい。コロナの影響 ・「どの大会がメインですか?」という話も父母から上がる。 ・お祭り ・ホテル那覇コウが、ユースホテルもお勧め。	・村谷後、15日経って株がやばい決まった。 → 運営の問題 ・先に株が空に平がある。子ども達に体験会させる。 } 千原の苦悩 ・高知島の苦悩が1かかっていない。 } 高知島軽減 ・雨天の場合、 ・先に全島が南部 → 北部に。 ホテル変更、 ・大会別に体験会
・会社で1回派遣に付き1万円。 社員の子どもが ・ボクは誰か分らない。 後援も、お世をよこさる。 ・代表選手、合同練習の 負担が大きい。	・都内、都内、橋差、 ・会社の派遣にイテ、たけいナ X2カール引きさずる。 ・寄付をまとめる団体がいまいる。 ・売上げの2%を竹富町の派遣費に (1人商品) 1人親衆 ・ポイントに派遣費にまわす。
サブセッション ・JTA 玉成 ・几帳面、ス" マエカ" ・石=中マ-チク" シナ ・117" 代表が決まった時は高い、特にホテル。 団体千配割高。 要路選手は高い。120万円。 マージン、指導者、お母会、Air Z" くる。	